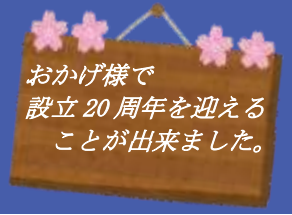


横浜研修センター 横浜クリニック 地域医療連携室レター

令和4年4月
第30号



神奈川県立歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック地域医療連携室(045-313-5047)

横浜クリニック院長挨拶

院長 (インプラント科診療科長) 教授 児玉利朗



日頃より横浜クリニックの運営にご協力いただき心より感謝いたしております。令和3年は世界的に感染拡大した COVID19 感染症に翻弄された1年でありました。令和4年になりオミクロン株の感染拡大によりまん延防止等重点措置が実施され、3月21日をもって約2か月半にわたる措置が解除されました。当院では徹底した院内感染防止対策により、クラスターの発生を防止するとともに、幸いこれまで職員の感染も少なく、患者様に安心・安全な医療環境を提供してまいりました。今後 BA2 オミクロン変異株にも警戒しながら診療体制を継続いたします。本年度は認知症・高齢者総合内科外来ならびに難治性腹痛・便秘異常外来の推進、訪問歯科診療の充実、デジタルデンティストリーの推進を行い、社会情勢に応じたクリニックの先進的な診療体制の構築を実施してまいります。令和4年7月に横浜クリニックは開設20周年を迎えますが、引き続き徹底した院内感染防止対策を実施し、さらなる飛躍の年として地域医療に貢献すべくスタッフ一同邁進いたす所存でございます。今後ともよろしくご指導の程お願い申し上げます。



副院長 (矯正歯科診療科長) 教授 不島健持

新年度を迎え、未だコロナの収束は見通せず国際情勢も不穏な状況にあります。このような時こそ、近隣医療機関との診療連携、先進歯科医療の提供、人材育成など、大学附属医療機関としての役割を地道に果たしていくことが大切と考えております。横浜クリニックでは、デジタルデンティストリーを展開し、より明確な診断予測に基づいた治療システムを整備しております。今後ともご指導ご支援よろしくお願い申し上げます。



副院長 (眼科診療科長) 教授 市邊義章

コロナ禍の中、医科(内科、耳鼻科、眼科)と歯科との連携、また各部署の職員の方々のご協力で何とか令和3年度を乗り切ることができました。新年度も各職員個人の感染症に対する常に高い対応意識と各科、各部署との連携を強化し、患者様方に安心して診察を受けていただくことができますよう、職員一丸となって努力していく所存です。これからもご支援、ご協力、またご指導、よろしくお願いいたします。



副院長 (成人歯科診療科長) 鎌田 要平

今回横浜クリニック副院長を拝命いたしました、インプラント歯周病学分野の鎌田要平です。2005年入職し17年間で様々な経験を得ることができました。周囲のサポートを頂き成長できたので、これからは周りをサポートし、クリニック運営に貢献する所存です。地域の患者さん、医療機関、取引先関係各所などには今まで以上にお役に立てるように誠心誠意取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

◆◆この号の内容◆◆

- 院長挨拶 1
- 副院長挨拶 1
- スタッフ紹介(歯) 2
- スタッフ紹介(医科) 3
- 認知症・高齢者総合内科外来
ご紹介 3
- Information 4
- 難治性腹痛・便秘異常
(便秘・下痢)外来ご案内 4
- 訪問歯科診療ご案内 4
- その他 4

歯科部門 スタッフ紹介

2022年4月1日現在

今年度のスタッフを紹介させていただきます。詳細なスタッフは当院ホームページをご確認ください。

成人歯科

MI補綴療法部門

濱野 奈穂	准教授
岩下 英夫	講師
福山 卓志	助教
高瀬 優加	医員
村上 詩織	医員
富永 順平	医員
和泉 浄	臨床専攻生
辻村 有哉	大学院生

歯内療法部門

市田 佳子	助教
岸 祐矢	医員
山口 大樹	医員
廣川 晃司	特任教授
三橋 晃	臨床教授
上田 剛史	非常勤歯科医師
内藤 広太郎	非常勤歯科医師
鈴木 彩香	臨床専攻生
平井 佑弥	臨床専攻生
馬場 陽子	臨床専攻生
大原 ありさ	臨床専攻生

歯周療法部門

鎌田 要平	診療科長・講師・副院長
清水 智子	助教
佐藤 五月	診療科助手
鈴木 聡太	診療科助手
中崎 早紀	診療科助手
中村 里穂	医員
高梨 裕也	医員
山田 太陽	医員
田村 利之	特任教授
緑野 智康	非常勤歯科医師
下村 昌豊	非常勤歯科医師
片山 翔一	臨床専攻生
難波 照啓	臨床専攻生
新田 成人	臨床専攻生

総合歯科管理部門

大石 ゆかり	講師
平嶺 浩子	講師

口腔外科

中村 篤	診療科長・診療科教授
小枝 聡子	診療科准教授
南雲 達人	診療科講師
石井 滋	診療科助手
小澤 真奈美	医員
北村 公	医員
秋山 広希	医員
山村 真紀子	医員
羅田 幹久	医員
代田 達夫	臨床教授
大野 康亮	非常勤歯科医師
近藤 忠稚	非常勤歯科医師

小児歯科

熊坂 純雄	特任教授
横山 三菜	講師
山口 知子	助教
野口 萌	臨床専攻生

障がい者歯科

池田 正一	客員教授
高野 知子	診療科長・診療科講師
鈴木 杏奈	診療科助手
勝畑 妙江子	非常勤歯科医師
新倉 啓太	非常勤歯科医師
宮城 敦	非常勤歯科医師
野口 萌	臨床専攻生

矯正歯科

不島 健持	診療科長・教授・副院長・副研究科長
川合 暢彦	准教授
小野崎 純	講師
佐藤 允俊	助教
尾崎 博弥	助教
萩原 俊一	助教
窪田 めぐみ	診療科助教
尾関 佑美	診療科助教
塚田 恵造	診療科助手
石井 貴和	大学院
小山 未来	大学院
松田 久	大学院
久保田 令絵	大学院
齋藤 藍	大学院
林 敦	大学院
大場 純	非常勤歯科医師
秋本 進	非常勤歯科医師
齋藤 伸雄	非常勤講師
松成 篤	非常勤講師
安井 正紀	非常勤講師
水口 賢一	非常勤講師
渡辺 亨	非常勤講師
野久保 浩美	非常勤講師
荒井 さとみ	臨床専攻生
児玉 恵	臨床専攻生
佐藤 慎也	臨床専攻生
杉原 利加	臨床専攻生
湯川 仁子	臨床専攻生

インプラント科

児玉 利朗	診療科長・教授・院長
北條 彩和子	助教
小島 康佑	診療科助手
曾根 崇晴	診療科助手
小瀬 貴之	診療科助手(社会人大学院)
西村 允貴	診療科助手(社会人大学院)
吉野 剛史	診療科助手(社会人大学院)
大井手 良光	診療科助手
坂田 侑季	医員
藤森 美紗	医員
林 昌二	特任教授
杉山 秀太	非常勤歯科医師
志村 公治郎	非常勤歯科医師
鳥羽山 剛	非常勤歯科医師
河合 邦彰	非常勤歯科医師
伴場 紀子	非常勤歯科医師
中村 慧	非常勤歯科医師
井上 溪太郎	非常勤歯科医師
富樫 敏夫	非常勤講師
栗林 伸之	非常勤講師
杉山 雅一	非常勤講師
上野 大輔	客員教授
林 正人	客員教授
豊嶋 健史	客員教授
西久保 周一	客員教授

麻酔科・歯科麻酔科

有坂 博史	診療科長・教授
杉田 武士	講師
妹尾 美幾	診療科助手
阿部 陽子	診療科助手
山中 美由紀	診療科助手
吉田 優子	診療科助手
松本 安紀子	非常勤歯科医師
齋田 菜緒子	非常勤歯科医師
間宮 秀樹	非常勤歯科医師
古屋 宗孝	非常勤歯科医師
岩本 津和	非常勤医師
衣川 智子	非常勤歯科医師
望月亮	非常勤講師
豊里 晃	非常勤講師
買原 一郎	非常勤講師
買原 玲子	非常勤講師
金子 譲	非常勤講師
福間 健史	非常勤講師

医科部門 スタッフ紹介

●内科

栗橋 健夫	診療科長 診療科教授	一般社団法人日本プライマリーケア連合学会 認定医・指導医 公益社団法人日本医師会認定健康スポーツドクター 一般社団法人日本睡眠教育機構睡眠健康指導士上級 公益社団法人日本医師会 認定産業医
眞鍋 雄太	診療科教授	神奈川歯科大学附属病院 内科 診療科教授 一般社団法人日本認知症学会 専門医・指導医 一般社団法人日本旅行医学会 認定医 公益社団法人日本医師会 認定産業医 レビー小体型認知症サポートネットワーク東京顧問 日本集団災害医学会MCLSプロバイダー 難病指定医(パーキンソン病) ボトックス療法 認定資格医 レビー小体型認知症研究会 世話人 口腔と認知機能研究会 世話人

●眼科

市邊 義章	診療科長 診療科教授 副院長	財団法人日本眼科学会 専門医 一般社団法人日本糖尿病眼学会 理事 日本神経眼科学会 評議員・編集委員 専門:眼底、視神経、ぶどう膜炎
櫻井 藍子	診療科助教	財団法人日本眼科学会

●耳鼻いんこう科

澤熊 香衣	診療科講師	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会 専門医 一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会認定 補聴器相談医
-------	-------	---

認知症・高齢者総合内科のご紹介

眞鍋 雄太 (まなべ ゆうた)



認知症・高齢者総合内科外来
診療日(完全予約制)
水曜日 午前・午後:初診
木曜日 午前・午後:再診
<ご予約電話番号>
045 - 313 - 4033

認知症 600 万人時代。認知症性疾患に対する精緻で質の高い診および evidence based medicine に則った治療の提供を raison d'etre に、認知症・高齢者総合内科は診療展開しています。特にレビー小体病に関しては、同疾患研究のメインストリームにいる数少ない専門家の一人として、prodromal 期の非運動症状である REM 睡眠行動障害および睡眠関連行動障害(周期性四肢運動障害やむずむず脚症候群)、便秘からパーキンソン病、レビー小体型認知症まで、専門的な生物学的指標検査(終夜ポリソムノグラフィや核医学検査、脳波検査、嗅覚検査、脳形態学的検査 etc.) を行いつつ多面的に診察し、診断から治療を行っております。

当科外来では、専門のレビー小体関連疾患の他に、Alzheimer 病を始めとする神経変性性認知症(前頭側頭葉変性症、皮質基底核変性症 etc.)、高齢者てんかん、正常圧水頭症が比較的多い比率を占めております。

診断および治療、病態評価、セカンドオピニオン、臨床心理士による介護者のカウンセリング等、お気軽にご依頼下さい。

◆◆ 難治性腹痛・便通異常(便秘・下痢)外来 ◆◆

【特徴・特色】

■画像検査 大学病院の医師による消化管内視鏡検査やポリープ切除を受けられます。腹部エコーやCT検査なども受けられます。

■腸内環境解析 おなかの症状の多くは、腸内環境の変化などにより起きていると考えられています。我々は大学病院と連携して、最新の機器を用いた腸内環境(腸内細菌叢や胆汁酸など)の解析を行っており、これまで原因のわからなかった方も、原因が特定できる可能性があります。

■治療 難治性腹痛の原因としては、現代人に多いとされるIBS(過敏性腸症候群)については聞いたことがある方は多いかもしれませんが。しかし最近では、慢性偽性腸閉塞、リーキーガット症候群や、大腸憩室をお持ちの方に合併するSUDD(症候性単性憩室疾患)など、新しい疾患概念が確立しつつあります。我々の経験を活かして、患者様の状態に最も適した、食事指導や薬物療法などを提供します。

お悩みの方は是非、ご相談ください

診療日時:月・火・木・金・土/午後(8:30~11:00 受付) 各曜日とも午前のみ
※受診の受付は紹介状がない方でもお受けできます。受付時間内にご来院ください。
受付連絡先:内科受付 045-313-4033(直通)



◆◆ 訪問歯科診療 ◆◆

2020年11月より訪問歯科診療を開始してからもうすぐ1年半を迎えようとしています。訪問歯科診療は、通院が困難な方のための歯科往診サービスで、むし歯や歯周病などの治療や入れ歯の作成・修理、口腔ケアなどに対応しています。また、誤嚥性肺炎の予防や食べる楽しみの回復など、口腔機能のリハビリテーションも行います。治療の方法としましては、利用者様の体力に合わせて無理のないように進めていきます。費用については医療保険や介護保険(負担金なし)が適用されます。



※訪問範囲・日時等につきましてはご依頼時に調整をいたしますのでご相談下さい。
受付連絡先:訪問歯科担当窓口 TEL:045-313-0007(代表)
E-Mail:yc.houmonshika@kdu.ac.jp

◆◆ 20周年記念式典 ◆◆

今年度につきましては設立20周年記念式典を予定しておりますが、社会情勢を踏まえ延期もしくは中止させていただく場合もございます。その際には、再度お知らせいたします。開催時には皆様のご参加をお待ちしております。

【開催日】 2022年7月20日(水) 【場 所】 横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ
【時 間】 18:30 ~ (予定)

●詳細は、後日ご案内させていただきます●

地域医療連携室からの挨拶

未だ終息の兆しが見えない未曾有の災禍の中、ご苦労はいかほどかと拝察いたします。

当クリニック20周年と共に、平成24年8月から発行してまいりました「地域医療連携室レター」も今回で第30号となりました。この場をお借りして皆様お礼を申し上げます。人間ドック及び企業検診の受診者数についても、令和2年度こそは減少に転じましたが、令和3年度は再び増加が見込める事となりました。これからもスタッフ一同、皆様の健康に貢献できるように努力してまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック 地域医療連携室

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-31-6

TEL :045-313-5047(地域医療連携室直通)

FAX :045-548-8069(地域医療連携室直通)

Mail : chiki-irenkei@kdu.ac.jp

URL : http://www.hamakdu.ac.jp



最後までお読みいただき
有難うございました。